

黒崎町議会議員補欠選挙投票日

7月 26日

(立候補予定者説明会14日 告示21日)

あなたと
町をつなぐ

広報

ごとき

1987
No.286



4月26日から3か月後に

写真は4月26日の町議会議員一般選挙の投票(山田小)。この日から3か月後が町議会議員補欠選挙の投票日となっていました。ちなみに一般選挙のときは28人が立候補し、投票率は87.3%でした。また、町議の補欠選挙は昭和56年1月25日(町長選と一緒に)以来のことです。

十人の町議会議員から辞職願が議会事務局に五月十三日から二十三日にさみだれ的に届けられています。野崎太策議長は十五日、十人の辞表を同日付けで許可し、同日中に文書で直接本人に通知しました。

十六日 議長から町選挙管理委員会へ十人の欠員が通知され、同選挙管理委員会が開かれ、欠員通知書を受理しました。定数に六分の一以上欠員が生じると、五十日以内に補欠選挙を行わなければなりません(公職選挙法)ので、選管では補選の日程などについて協議し、七月二十一日に告示、二

十六日が投票日、立候補予定者説明会を十四日と決めました。なお町議会議員の定数は二十六人。

二十二日、選挙会が開かれ二人の繰り上げ当選を決めました。

当選したのは高橋重雄氏(大野・五歳)と岩野弘昌氏(大野・三十四歳)。四月二十六日の町議選では達していたため、公職選挙法の規定により繰り上げ当選になつたものです。これにより、欠員は八人となり、八議席の補欠選挙が行われることになりました。

町議10人の辞職を許可

2人が繰り上げ当選、欠員8